

東洋英和女学院大学大学院

2018年度前期入学試験
春季選抜 問題

人間科学研究科人間科学専攻
修士課程 人間科学領域

(教育学)

小論文

教育学分野 入学試験 小論文

2018年2月3日 実施

(1) 次の①～③にすべて答え、全体で800～1000字の小論文としなさい。

- ①「日本社会の教育選抜がメリトクラシーよりもむしろペアレントクラシーへの道を歩んできた」について説明しなさい。
- ②日本ではとくにこの問題を重視しなければならないのはなぜか。
- ③この問題の打開策としてどのような施策がありうるだろうか。

(2) 以下は、松下良平著『知ることの力ー心情主義の道德教育を超えて』(2002年、勁草書房)からの抜粋である(一部、問題作成のために変更した部分がある)。以下の文章をよみ、その内容を踏まえて次の①②に全て答え、全体で800字～1000字の小論文としなさい。

- ①「知ること」と「行うこと」についての「常識的な見方」とはどのようなものか、説明しなさい。
- ②「知ること」と「行うこと」の関係性の問題をどのように克服することができるか、自分の意見を述べなさい。

